

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	三松小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	19 人		◎坂下 春則	司会進行
開催日	平成 28 年 7 月 19 日（火）		森田 哲朗	活動報告（総務文教）
開催時間	午後 7 時～午後 8 時 55 分		杉元 豊人	（経済産業）
会場	農村環境改善センター		吉藤 洋子	（市民厚生）
その他			鎌田 豊数	（広報広聴）
			鎌田 豊数	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「より豊かな市民生活の向上を目指して」 ～住民自治に根ざしたきずな協働体について～ ～人口維持対策（雇用対策）について～ ～子育て・少子化対策について～		
【意見交換の概要】 □小林では環境的に子育てが困難な状況にある。小児科医、産婦人科医の確保に責任をもって取り組むべき。 ■医師不足は全国でも問題になっている。医師定数を減らしたことも原因。小児科、産婦人科だけでなく、内科も足りない。議会でも一般質問等で質している。 □医師不足については、まわりの市町とも連携すべきではないか。 ■西諸医師会と連携している。小児科、産婦人科はドクターだけでなく、スタッフ体制も含めて確立しなくてはならない。 □きずな協働体の目的は何か。 ■少子高齢化が進展し、住民ニーズも多様化している中、これまでやってきた行政の画一的なサービスでは対応できない部分がでてきている。そこで、三松住民自らが課題を発見し、解決に向けて行動し、三松の実情にあった、きめ細かい「まちづくり」をしていくのが目的。 □きずな協働体の予算はどこからでているのか。 ■市から出ている。例えば、西小林は27年314万円、28年300万円出ている。その他の地域も、ほぼ同様である。 □きずな協働体で包括支援体制をどのように築くかも課題である。 ■これから大事な取り組みになる。			

□婚活も行政で取り組むべきではないか。

■婚活については、他でも意見が出ている。一般質問等でも市に提言している。これからも質していく。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□ダイレックスの跡に、競輪場外車券売場進出の話がある。カジノ等で家庭が崩壊する。教育環境の中に、そのようなものはあるべきではない。

■6月議会一般質問の市長答弁では、「計画があるが国道268号線沿いで、交通や防犯上の問題がある。」以前にボートの時も反対があり、できなかった。市としては白紙の状況であるということであった。

□農業問題、TPPの影響をどのように考えるか。

■小林で影響額は約13億円、何も対策をしなければ30億円になると聞いている。

□チョウザメの大量死について伺う。

■4月2日に酸欠が原因で、市養殖場のチョウザメ347匹が死んだ。議会からも再三当局に管理体制について申し入れをしていたが、今回3つの要望事項を強く当局に対して出した。

□こばやし大運動会は参加する人が決まっており、一部の人には負担になっている。

■ご意見のような声が市民の間で上がっていることは承知している。今後のこばやし大運動会のあり方については、議員間で討議していきたい。

□健（検）診の受診率が低いが、平日に行ける人は少ない。受けやすい工夫をすべき。

■そのために、日曜日の集団検診を、今年2会場で実施している。市も個別訪問するなど対応していくが、毎年実施するよう提言していく。

□災害の場合の連絡が高齢者に伝わらない状況である。

■高齢者や障がいのある人たちに情報が伝わるよう、議会で質していく。

□三松地区には公園が少ない。

■一般質問等で質していく。

□心配ごと相談の窓口をもっと充実してほしい。

□地籍調査はどうなっているのか。街中を一番最初にすべきではないか。また、杭を打つ時、当事者の立会いがない。

□相続の手続きで、市民課の窓口で相続人にどのような書類が必要なのか、適切な説明がされていない。

■一般質問や委員会審査を通して、地域の意見を伝えていく。

議会活動報告への意見

※□市民の意見 ■議員の意見

□この意見交換会の意見はどうなるのか。

■とりまとめて整理し、はなみずき臨時号・ホームページに掲載する。要望事項・質問等は行政につなぎ、議論すべき内容については、政策討論会で議論し、議会で質していく。